

新野基階級 拝返一回土曜日那別会、宮古、八重山、西麦、基隆 を住復してみます。船舎運賃、郡別基隆間等別一等計画、一等計画、三等計画。 三等十画。 三等十二。

大阪若松線、大阪大分線、大阪鹿兒島線 共他の貨客船航路も

●以上の外郷社は内海、近海、竜に弥社船を御利用下さい。 加して交通運輸の便を計つて居ります。海外御波航に、御遊壁に用して交通運輸の便を計つて居ります。海外御波航に、御遊壁に用いている。

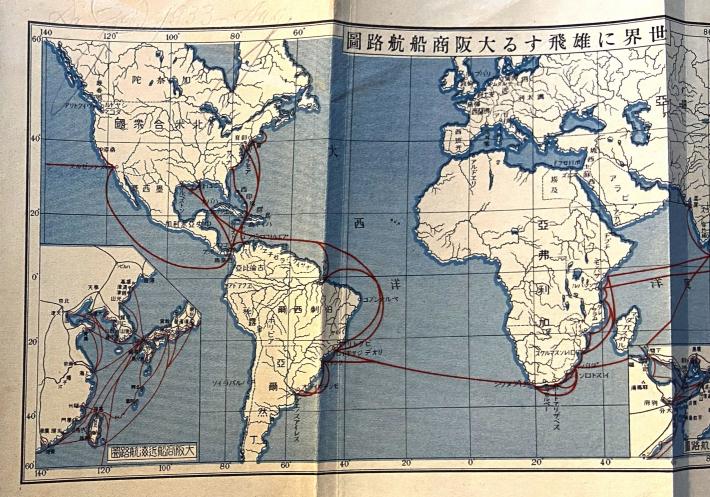
▲各航路別に詳細な案内書を準備してあますから、本社又は各支店代理店に御請求下さい。尙定期や運賃は時に變更がありますの最め前達を負力とよっ



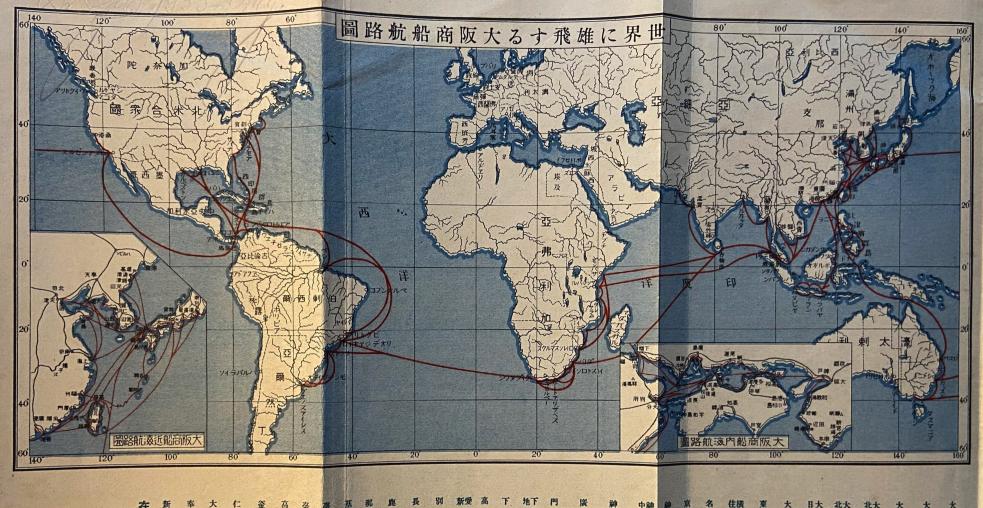
内案業營 船商阪大

案業營





支店代理店に御請求下さい。 ら豫め御諒承願ひます。 店代理店に御請求下さい。尙定期や運賃は時に變更がありますか▲各航路別に詳細な案内書を準備してゐますから、本社又は各地



勝浦急行船那智丸

大阪勝浦急行船

温泉と名所と古蹟の繪卷物とも謂ふ

の参詣に御利用下さい。

船客運賃、

多度津航路大智丸 陽航路晋戶丸

> 神と泉都別府とを結ぶもので毎日晝夜二回大阪神戸及び別府 大阪別府線 高松・今治・高濱・長濱に寄港して、 「世界の海上公園」瀬戸内海を航行して、 白噸)むらさき丸、くれなゐ使用船は我國沿岸航路最大 阪神四國九州を 商工都市阪 大分か

地

航

二等十圓、一等十五圓。阪神長濱間三等五圓五十錢、二等十 等四圓五十錢、二等九圓、一等十三圓五十錢。 船客運賃、阪神高松間三等三圓、二等六圓、 丸(千六百噸)及快速船屋島丸の五隻。 最美の純客船みどり丸・すみれ丸(千七百噸)むらさき丸、 連絡する瀬戸内海の遊覧船であります。 ら相互出帆、 阪神高濱問三等五圓、 阪神今治間三 圓、

大阪山陽線 一等十一圓十錢。大阪勝浦問三等四圓十錢、 ・宮島・錦帶橋見物に便利。船客運賃、阪神より坂手へ三等二圓四十錢、鞆へ二圓七十五錢、尾道へ二圓八十錢、宮島へ三圓三十每日二回阪神より坂手・高松・多度津經由、山陽各港に寄港して門司・小倉に往復、寒霞溪・鞆・阿伏兎觀音・尾道水道・吾戸 二等八圓二十錢、 一等十二圓三十錢。

和歌浦・田邊・串本・古座を經て勝浦に往復して居ります。白濱・湯崎・勝浦諸温泉への入湯に、潮岬・那智大瀧・新宮・瀞峽の見物に、

き南紀熊野

等十

六圓五

へは千六百噸級のデーゼル純客船牟婁丸・那智丸が毎日一回大阪神戸發、

阪神別府間三等六圓、二等十二圓、

一等十八圓。

大阪田邊間三等二圓二十錢、二等四圓四十錢、

一等六圓六十錢。

大阪串本間三等三圓七十錢、

二等七圓四

熊野三

瀬戸・吳軍港・宮島・錦帶橋見物に便利。船客運賃、阪神より坂手へ三等二圓四十銭、 五錢、門司へ四圓六十錢。(本航路は尼崎汽船部と共同經營です)

圓、二等片道七圓、往復十二圓、 五時三十分神戶、 、これには、こ、三に、三にの場合する遊覽船で、宮島や岩國の錦帶橋遊覽に最も便利。船客運賃、三等阪神宮島間片道三圓五十錢、時三十分神戸、同七時半大阪に歸着する遊覽船で、宮島や岩國の錦帶橋遊覽に最も便利。船客運賃、三等阪神宮島間片道三圓五十錢、宮島遊覽船(毎土曜日午後六時大阪、同七時四十分神戸遼、翌朝八時三十分宮島着。同日午後三時四十分宮島登、同五時岩國發、月四宮島遊覽船(毎土曜日午後六時大阪、同七時四十分神戸遼、翌朝八時三十分宮島着。同日午後三時四十分宮島登、同五時岩國發、月四宮島遊覽船(毎土曜日午後六時大阪、同七時四十分神戸遼、翌朝八時三十分宮島 山陽と別府大分を連絡するもので、毎日一回(每水曜日に限り休航)廣島午後八時發、 一等片道十圓五十錢、往復十八圓。(六月、 九月及十一月中旬より翌年二月下旬まで休航します 別府午前八時發、

宮島・

柳井

・鶴川・大分

大阪多度津線 船客運賃、 每日午後九時大阪天保山發、神戶、高松、 宮島別府間三等二圓七十錢、 二等五圓四十錢、 坂出經由午前八時多度津着、 一等八圓十錢。 多度津は毎日午後七時に 出て坂出、 高松を經て翌朝五

時冊分神戶、七時冊分天保山着。 **大阪那覇線** 每月五回、大阪午後二時發、翌正午神戶發、 阪神—高松問三等二圓七十錢、 四日目午後二時名瀬着、 阪神多度津間三等二圓九十錢、 五日目午前八時半那覇着、 二等は二倍、 一等は三倍。 三千五百噸の 臺中丸・臺南丸

鹿兒島那覇線 船客運賃、 毎月九回、 阪神名瀬間三等八圓、 鹿兒島、 名瀬、 二等二十圓、 那覇間往復。 一等三十圓、阪神那顆間三等十圓、二等廿六圓、 船客運賃、 一等卅九圓。

二等十六圓、 一等廿五圓。 **鹿兒島名瀬間三等四圓、** 二等十圓、 一等十五圓五十錢、 鹿兒島那覇間三等

府

間を往復してゐます。 六圓、二等廿圓、三等十圓。 那覇基隆線 每週一回土曜日那顆簽、宮古、八重山、西 船客運賃、 郡爾基隆問特別一等計圓 一、一等世

日出帆してゐます。 大阪若松線、大阪大分線、 大阪鹿兒島線 其他の貨客船航路も毎

見學旅行に、貨物の運送に、常に弊社船を御利用下さい。 用して交通運輸の便を計つて居ります。海外御渡航に、 ▲以上の外弊社は内海、 近海、 遠洋に亘 り常に多数の臨時船を使 御遊覽に、

支店代理店に御請求下さい。 ▲各航路別に詳細な案内書を準備してゐますから、本社又は各地學旅行に、貨物の逍遊ドーグトリョア



> 大阪市北區 宗是町 大阪市北區宗是町 電話土佐堀六七〇〇(八)

大阪市北區宗是町 東京市麹町區內幸町 湾友市 中 ピ區 本 電話銀座三三二(八) 梅田案內所 電話本局二五三 (七) 天保 話梅 西港 橋案內 六八六、六八七 山船客 社局不能同番店 100 出張 二条四内 0所

日大

北大

住機

京都市梅小路驛前 名古屋市西區船入町

電話下四六六〇四)

電話西三五六〇(五)

F

南か南等砂砂えのでナナデ イ 米丸米洋、十の優あオージャン・ 海大 、延食三五十秀リ 津ヤ

よア船ら線十洋、いにす。催イッナ設 リル客び 七食Bれ劣。ヒタロリル 備 サア満丸國第十十丸四アコーサルンで載、對人六八、設マスス六

復ン經萬 B-へ リ界ケー観報が 航スで順阿八砂一船、一ト萬出しい南

、級弗十、等容一周リニ南で容米 ブル神の利五BA運等のア千米ない動 エク戸あ加碗八六賃は大・四の毎 ノスにふ館、十十は歐航二百里

米以 NT

五鐡で以丸のな 圓午。と客 前離上船 。に三るが 五賣る正丸事往 五船翌湖巨

七七往連 三主リ月ば要、三十月で、 十世復年 等要ま二いさ大 等一よ就選

圓圓東す由 が八神神圓草を快 、横濱・名古屋門月青島間一等町・門司・青島間 九復 MIL 二るま 大連 P4 +

0 0 15 7 十十あへ雄 関五リの基 の間主往に 六に 等をす川仁 等並 のに復

二、資連・十各級の三帆 羅羅北ら清等加貨基園運火大園、 淮北鮮表津 十映画路 百發 へ川 十節船はす

基 45















































* * 4 7 7 7 1 2 7





































百一運名する 十二国、六千噸級・十二国、六千噸級・ 五三て門 十等る 五三ま 五賃オ以 間で 圓神を毎月



十客正の船

丸いりする船絡連滿日

貨便の阪間濱・主阪天連の阪・客に司米りる日圓賃門要神内 五 定とり治日八圓し寶灣新圓内期るい的本圓、て1周季間 に丸丸經内での、濟地 等南往八う的と 等三居交秀四日リ通快路 一滿復隻ら意を 洲しをる義つ 五のす線大 鐵て以丸のな道居て、重ぎ 圓午°と客 前神し船 ・追加しば要 三十月て 等要ま二いさ大 十驛す十かは阪 二時り航業 三る今 十基二し丸 圓隆週で扶 °船 、正午神戸、はるびん丸、はるびん丸 のに三ね 門車司連 門到回ま 司着、す 大絡 基致正°環 連切 間符志發 間ま出地丸 香な間 一をあ 等發と翌港いを 五寶る正丸事往 十。兩午、で復 ○ `豪三 五船翌灣巨

直復デ 司 LI BTE 一居ル 等り客 六十圓・並等の大十圓・並等 等十二四地主要驛 主要驛で

青 演等 間青 古六等間 屋圓六を 十往 九復 圓し · T 司 二为 等ま 大連 四寸 +

堂食等一丸いりすう 度貨 (名大十名誠る 天 六内 門船江 五 阪船 園八郎にも 大津横圓地大河車丸大 圓船船 門亞あす 五選 午主が 七二北海出し百五賣で九神神の 羅羅北ら清 津津鲜表津 雄雄線日直 基基の本航 へへ貨か 特特物ら羅 等等船北津 四四も鮮 十十あへ雄 圓五リの基 缝割 です復往 。に復 十等船はす

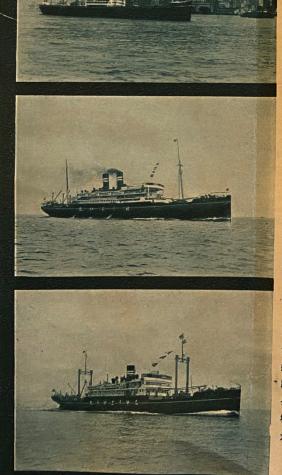
天阪 上 一 等 十 四 回 を 往 復 し て か 一 等 十 四 回 ・ 三 等 十 四 回 ・ 三 等 十 四 回 ・ 三 等 市 する も の で な 豪東 京 沿岸 線 東 沿岸 線 東 沿岸 線 東 つ 一 等 本 神 れ り に 寄 浩 す る も の で な 東 へ 一 等 か ・ 戦、二等九圓五 を運賃、長崎基隆 を出帆、京濱に 基隆發花蓮港 を選賃、長崎基隆 を出帆、京濱に 基隆登花蓮港 八十錢、二等七圓二十錢、八十錢、二等十三圓。三等十一圓五一等百八十圓、三等六十圓。一等百八十圓、三等六十圓。一等百八十圓、三等十一圓五一頭直航運賃、特等五十五圓一類直航運賃、特等五十五圓五十錢、二等七圓二十錢、二等十一圓五二十錢、二等十一圓五二十錢、二等七圓二十錢、二等十一圓五 三燒 等島並由 ・紅頭伽の・紅頭伽の・紅頭伽の・紅頭伽の・紅頭伽の・紅頭伽の・紅頭伽の で門り 一司ま仁山 祖頭嶼・ 等をす川仁百發。一川 面歸

一直を使 三用 三等六 中日 てへ 江 油曜 頭日 ま等 す八別 へ基 の間、対方の所対が 等發 運等就 六門 賃四航 一頭 雄三ね 等香 馬等ま 11港 公二す 四間 間圓 0 圓を 一五船 等十客 、往 十錢運 三復 等して °賃 五十 基隆 二のま 鏠

圓 上海・青島で、一等 寺島五間 五天十を 園津四往 の後 青至二し 島へ一等十七人の ま 航八 等七十二圓。廣東へ圓。廣東へ丁。船客運 一直海·福一 三等世界等六十 天て三門 一に一等 等歸圓 八着

基隆發 ·厦門 間 を往復 航淡水に寄港





行 船 内

加

か

連 廣大

個麻近附オバダ

復ン經萬 B ~ リ界ケー製炭を航スで順阿八磅一船、一ト萬由しル南 ブル神の利五BA巡等のアー門、 25年 月 開課 設備の優秀と執路の大規模とに依つて世界的に有名な、大きな、カードのでは、東洋社・10世界を保すした。 (1) は、 10世界を保すった。 (1) は、 10世界を保持をよった。 (1) は、 10世界をよった。 (1) は、 1 と航路の大規模とに依つて世界的に有名な、我社の南米航路は一萬順と、「一八一一等」と、「一八一一等」と、「一八一一等」と、「一八一一等」と、「一一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一等」と、「一一年」と、「一一年」と、「一一年」と、「一一年」と、「一一年」と、「一一年」と、「一一年」と、「一年」、「一年」、「一年」、「一年」、「一年」」(一年)、「一年」(一年)」(「一年)」(「一年)」(「一年)」(「一年)」(「一年)」(「一年)」(「一年)」(「一年)」(「

と聞き

23.

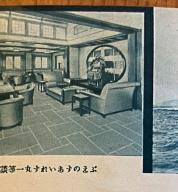
ロデクがイ

邦邦五等サ磅、嘉スス 人人十洋ラ、三坡・に・・延 十等プ 和和二食ム三等をイ至ロ大長 三AA 食食傍二へ等和經1リ1阪し 磅九ウ

メルボ

を

間ての百等路船直カ屋 画神を毎命十百でに航ッサ ・大阪・ ダよ復二航画十ワれ復々 圓も阪. ので、神戸 バリし回路。圓オば航ワ神 三寄内ス F 陀 へ=貨横あ







堂食等一丸いりすう

司

間青

等間

十往

九復

圓し

二る

等ま

四す

--

0

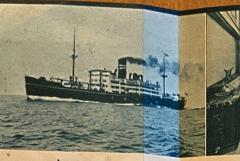
る六を

屋圓

島

伽脈近附オバダ







十目ま幹速

五のす線大

圓午°と客

等一よ就蓬

二時り航萊

十基二し丸

圓隆週で扶

隆し午内穂

間ま出地丸

一寸帆及の

`喜三

。に三ね

門到回ま

基致正

司着

三十月で

、前神し船

天 六內 門船江 五 議員八郎にも大津横圓地大司車丸大圓船船門頭あす 五選午主が 順便の阪間濱・主阪天連の阪・客に司来りる日圓賃門要神内 ・ 地に丸丸 製内。二、、「のの香味」 ・ 一次での、等三日の一次では、 ・ 一次での、等三日の一次では、 ・ 一次では、 ・ 一、 ・ 一 で 、 一 、 ・ 一、 ・ 一 で 、 一 、 一 で 一滿復隻ら意を 洲しをる義つ 五圓・一次のなぎ、 が八神神園で十七年速で十十年 三主リ月ば要 復デ 等要ま二いさ大 十驛す十かは阪 LI Bてゼ 一居ル 逃! 等り客 六ま船 べ門 3 る司 司連 十す長 大絡 內丸 連切 丸も連 間符志發 一をあ 、香な間 等強と型港いを 五賣る正丸事往 °兩午 で復

の回いに 圓圓東す由 の京か 愛の三帆 羅羅北ら清 大阪釜大阪釜 濱等 津批鲜表津 雌組線日直 基基の本航 へし貨か 特特物ら羅 等新船北津 十十あへ雄 間五りの基 園ま往に 並°す復往 等をす川仁百登。八川 。に復

神戸よ 大盛山馬

阪山

毎坊までは緑がありま

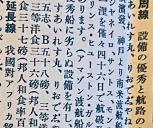
司ま

十客誠る





千上と礎やするれ西て 餘到し愈うる一ま南着明 理るて々とに萬し役々治 處內鞏し過七た後と初 達の外間でぎ千。 し海にをゐな順時此成、面隆告まか、に等績大 に々げすつ航明のを阪 、。た路治小舉を 容航た る資その理十會げ中 を盛本ので數七社、心 充を盛本ので数七社でを實印名金間する年がれる。 を一事が四五結の 共てか億業、千月成結 に定ち圓の爾九での果海 々五や世伴半六當達會業 進十所界ひ世浬時し社は 展除有海機紀では 0 の線船運度昭 **查此濫折** 舶界も和僅本處立か 上航總に増九々金にとら に路噸雄資年瀬百大な文 あ延敷飛をに戸武阪つ明 る長五す爲は內拾商た開 十るし五海萬船の化 `十を圓株での でに五一 あ三萬大拮周營 式あ風 噸海据年業使 会り 運經を範用社ま K 萬地會營迎園汽はす乗二球社基えと船生がつ



復ン經萬 B-へ 親スで順阿八磅一船、一ト萬由しル**南** 、級弗十、等客一周リニ ンユュー等ジトノサ出路 セスサ日す客線ンナ志 等百ジェスラ 劇 グナナ・ザイ・ レ八 間か ザイ・ ・名米磅等スリ 、嘉スス

は巴 横奈費府回陸 極高運河、羅 東海神・ボルチ 大島養香 東京運河、羅 京選河、羅 東の 日、横濱・大阪山、海海東丸、海海・青海山 邦邦五等サ磅

国、神戸より蘭州を配し、毎月 一司・崎戸・香港 物の運送に從恵 がの運送に從恵 で関百五五 で関百五五 では、毎月 り蘭貢 月五十二回・香が 貢 へ甲回 の客谷、。 百復 九す 九す・割寄 中の阪の谷デリ ので、いかので、 を ルを ボ以 へ等司 三便・ 便佣濱· NT

ブレ高丸線間客航航、りて、温泉的社、、 へガ雄及で、運路船往、 一ス・があ一賃はと航復毎 マんり等、臺が門港月 - ぢま三神灣あ司は二 すし百戸總りよス回 七丸て十ス督まりラ横 ブの豪五ラ府すスパ濱 ・三灣圓バの°ラヤ發 三客ダ隻總、ヤ命此バよ、 等運バを督三間令直ヤリ名 五賃オ以府等一航航へマ古 間ての百等路船直カ屋 し回路。圓オば航ヶ神 三寄内ス へ=貨横あ 七のよべ香門 一ラ客演り

社會式株船商阪大



スレイアスノエブ 珈











